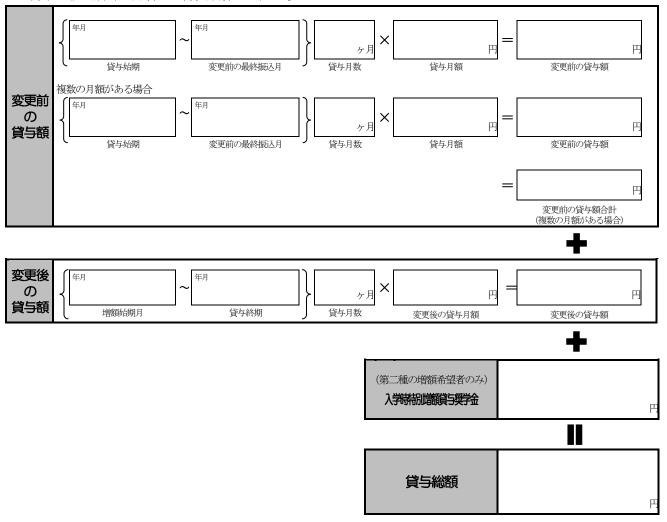
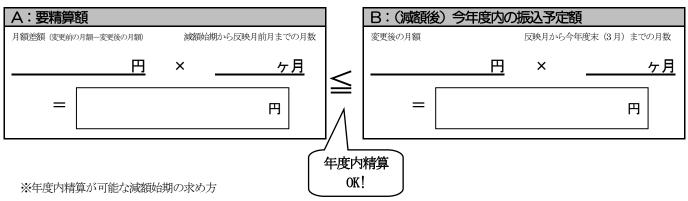
【平成 22 年度以降採用: 増額希望者】 ~変更後の借用金額(総額)の計算方法~

※一貫制博士課程に在学する者は、修士課程相当(1,2年次)は修士課程相当分のみの借用金額を計算し、博士後期課程相当(3~5年次)は修士課程相当を含む5年分を計算して下さい。



【滅れる 一本度内精算が可能かどうかの計算方法~



(例) 月額変更願9月提出(反映月10月):8万円→3万円減額(月額差額5万円)の場合

減額後の今年度内振込予定額(3万円 \times 6 $_{7}$ 月(10 月-3 月) = 1 8 万円)以内で、月額差額を精算には、

18万円 / 差額5万円=3.6

反映月の前3ヶ月以内でなければ精算不可 → 年度内精算が可能な減額始期は7月以降